

アトピー性皮膚炎の診断

のもと皮膚科クリニック 野本 重敏

(2005年4月18日放送)

Q アトピー性皮膚炎とは？

A アトピー性皮膚炎は重症の方になりますと、顔も体も全身が真っ赤で、ジクジクしていて、非常にかゆくて夜も眠れないと、勉強も仕事も手につかないと、そういう場合も確かにあります。本人は非常に辛いと思いますし、一緒にいらっしゃるご家族も、たいへんな思いをされているかと思えます。ただし、アトピー性皮膚炎と診断された方の全てがこうなるというわけではないのであって、軽症で済む方も実際は非常に多いわけです。

Q アトピー性皮膚炎の診断とは？

A 「アトピー性皮膚炎は一生治らない」というのも正確ではなく、成人までに軽快する例もあります。アトピー性皮膚炎の診断といいますのは、皮膚科医にとってはそれほど難しくありませんが、1歳未満のお子さんに関しては結構難しい質問です。乳児期といいますのは、皮膚の機能が未熟であるために、いろいろな刺激で湿疹を起こしやすく、アトピーではない湿疹、例えば脂漏性皮膚炎といったようなものがむしろ多いのです。ですから1歳未満のお子さんですと、アトピーかどうかははっきり診断できない場合があります。体の一部に湿疹があるだけでアトピーという診断にはなりません。強いかゆみがあるかどうか、顔だけでなく体にも湿疹があるかどうか、特徴的な分布かどうか、特徴的な乾燥肌があるかどうか、慢性に経過するかどうか、などを総合的に判断して診断いたします。アトピー性皮膚炎は検査で診断するものではなくて、私たち医師が診察をして診断するものです。

Q アトピー性皮膚炎の原因とは？

A アトピー性皮膚炎の原因は一つではありません。まずはアトピー素因という遺伝的な体質があって、そこにダニやホコリのアレルギーも関係しますし、ドライスキンつまり皮膚のバリア機能の低下というのも大きな要因と

なります。いろいろな要因がからみあっているということです。例えばR A S Tといわれる血液検査を行うことがありますが、これで例えば卵が陽性になったからといって、直ちに卵がその人のアトピーの原因であるということにはなりません。原因は一つではないし、血液検査をしても原因を特定することはできません。ですので、よく患者さんを診察させていただいて、お話を聞いて、お家の方のお話も聞いて、その人それぞれの原因(悪化要因)を見つけていきます。たとえば、細菌の感染、何かによるかぶれ、汗をかくこと、精神的な要因、ストレスなどが悪化要因になります。そういったものの一つ一つに対してきめ細やかに対応していくことになります。